

2年	課題分析	授業改善策
国語	<p>【思考力・判断力・表現力】</p> <p>○自らの意見をもつことはできているが、他者との交流を通して自分の意見や考えを再構築することが苦手である。</p> <p>【情報の扱い方】</p> <p>○情報を適切に取捨選択することが苦手である。</p>	<p>【思考力・判断力・表現力の育成】</p> <p>○文章や相手の話から考えたこと、理解したことについて発表したり、話し合ったりする活動、また他者との交流を通して、自分の意見や考えがどのように変化したのかということを発表する機会を授業内で設ける。</p> <p>【情報の扱い方に関する力の育成】</p> <p>○様々な資料から必要な情報を読み取る活動を計画的に行う。</p>
社会	<p>【基礎的知識】</p> <p>○1年次の学習内容が定着しておらず、2年次の学習内容へ結び付けられていない生徒が多く見受けられる。</p> <p>【マクロ的視点】</p> <p>○個々の事象を理解している生徒においても、俯瞰的な視点で事象と事象を結びつけることができない生徒が全体的に見受けられる。</p>	<p>【基礎的知識の定着】</p> <p>○視聴覚教材の活用や単元ごとの小テスト、授業における発問等を活用し、復習の機会を増やし、知識の定着を図る。</p> <p>【グループワーク等の拡充】</p> <p>○グループワークでの話し合い活動を通じて、根拠立てた俯瞰的な視点を養う。また、場合によっては、適宜、助言・指導を行う。</p>
数学	<p>【知識・技能】</p> <p>○知識は、身に付いていたものの、技能は、定着していない生徒がいる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <p>○自分の考えを表現する力は、昨年比べて無回答は減ってきている。学んだ知識を活かし、適切に判断、表現する力が付いてきている。</p>	<p>【技能の育成】</p> <p>○全体的な練習量が足りないため、家庭学習で毎日、目標時間を決めて、計算練習を行わせる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力の育成】</p> <p>○始めの2分で自力で考える、自力で考えることが厳しい生徒には、見通しを示し、考えさせる。次に、2人組または4人組で教え合い、学び合う時間をとり、定着を図る。</p>
理科	<p>【知識・技能】</p> <p>○1学期の学習内容である元素記号や化学式は、アルファベットの単純な暗記になりやすく、化学分野に苦手意識のある生徒にとって、つまづきやすいところだと思われる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <p>○実験結果や自分の考えを文章で書き表すことが苦手な生徒が多い。</p>	<p>【基本的な知識の定着】</p> <p>○授業導入で、前時の復習確認プリントを5分程度とる。</p> <p>○暗記事項の確認テストをこまめに取り、自主学習の機会を増やす。つまづきのある生徒に対して、基礎事項の補充問題を出す。</p> <p>【グループワーク等の拡充】</p> <p>○話し合い活動を通して、学習内容の言語化や自分の考えを共有する機会を増やす。</p>
英語	<p>【知識・技能】</p> <p>○英文を読む量が足りていない。</p> <p>【主体的・対話的な深い学びの課題】</p> <p>○学習ペースの差が激しく、生徒それぞれに適切な問題演習をさせられない時があった。</p>	<p>【タブレットを活用した情報共有】</p> <p>○タブレットを活用して意見の共有をし、たくさんの英文を読む環境を整えるとともに、主体的・対話的な深い学びの実現も目指す。</p> <p>【eライブラリを活用した文法指導】</p> <p>○タブレット学習で自分のペースで学習を進められる環境を整える。</p>
美術	<p>【知識・技能】</p> <p>○用具の使い方など今までに体験しているものでもなかなかうまく使えない生徒が多い。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <p>○個性的なアイデアを生み出すのが難しい。見本を提示するとそれに似た発想が多くなってしまふ。</p>	<p>【個別指導】</p> <p>○机間指導をこまめにし、一人一人の用具の使い方などを点検しその都度アドバイスをする。</p> <p>【思考力・判断力・表現力の強化】</p> <p>○見本とともにタブレットや資料集、その他参考資料を用い、アイデアの幅が広がるよう工夫をする。</p>
音楽	<p>【知識・技能の課題点】</p> <p>○歌唱において積極的に表現することが、全体的に苦手な生徒が多い。声量が弱いことに課題がある。</p> <p>【思考・判断・表現の課題点】</p> <p>○演奏する上で強弱など、音楽表現をすることが苦手な生徒が多い。</p>	<p>【知識・技能の定着】</p> <p>○基礎的な知識・技能を身に付けることで音楽を、楽しく自己表現できるように指導する。</p> <p>【身体的表現を分かりやすく伝えていく】</p> <p>○発声練習では恥ずかしがらずに声を出せるように、繰り返し指導する。発声練習の際に分かりやすく体の使い方を指導していく。</p>
保健体育	<p>【知識・技能の課題点】</p> <p>○東京都は変わらず体力テストの値が、全国平均を下回っているため、引き続き基礎的な体力の向上が必要である。</p> <p>○自身の健康状態の把握や、生活習慣病などの理解、生活習慣の改善をしなければならない生徒が多い。</p>	<p>【知識・技能の育成】</p> <p>○引き続き授業内での運動量を30分以上確保する。</p> <p>○保健分野で学習した知識を、他の場面でも活かしていけるように指導する。</p>
技術	<p>【エネルギー変換の技術】</p> <p>○製作等の実習を通して、科学的な知識や考え方を理解させ、学習したことを生活に活かすこととしていくことが課題である。</p>	<p>【エネルギー変換の技術】</p> <p>○電気機器の保守点検など作業実習だけでなく、その裏付けとなる科学的な知識を繰り返し伝えたり、ICT機器などを利用したりして自ら学ぼうとするよう指導をする。</p> <p>○製作実習等、遅れがちな生徒に対しては放課後の補充学習を行う。また、授業で使用したスライドなどは、Google Classroomに貼り付けていつでも閲覧できるようにしておく。</p>
家庭	<p>【知識・技能】</p> <p>○家庭での体験により興味関心や技能に個人差が生じやすい。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <p>○家庭の仕事に興味をもち、日頃から家事に接するなどしていないとなかなか自分の事として捉えることが難しい。実技ではアレンジに個性を出す事を目標としているがアイデアが画一的になりやすい。</p>	<p>【技能・思考力・判断力・表現力の育成】</p> <p>○日頃から家庭の仕事を観察、体験をするよう促す。実技では、まずタブレット等を用いて、どのような作品があるのかを調べ、理解した上で自分のアレンジに活かすよう導く。</p>